

窓の陽だより

発行: 社会福祉法人
窓の陽

〒116-0011
東京都荒川区西尾久7-50-6
TEL: 03(3894)4100
FAX: 03(3800)8765

地域連携推進会議

令和7年度から障害者グループホーム等において地域連携推進会議の開催と施設の見学が義務化されました。

地域連携推進会議とは、施設と地域が連携することにより、①利用者と地域との関係づくり②地域の人への施設や利用者に関する理解の促進③施設やサービスの透明性・質の確保④利用者の権利擁護という4つの目的を達成するため、地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議体のことです。



東京事業所

(ふるさとホーム荒川第2・第5)

栃木事業所

(那須愛恵苑)

(ふるさとホーム那須)



当法人が運営するグループホームでは、9月に会議を開催し、利用者本人及びそのご家族、地域住民の代表者、市区町村の担当者の皆さまにご出席いただきました。

当日は、施設長から施設の紹介や支援の方針、施設の行事、運営状況（収支等）、権利擁護のための取り組みなどを報告しました。質疑応答の際には、地域の方から利用者さんの日常について質問があり、入居生活の様子をお伝えすることができました。

委員の方々のご協力に感謝申し上げます。

お祭りイベント

各事業所で様々なイベントが開催されました！

東京事業所

8月9日に夏祭りを開催しました。

前半のイベントは輪投げ、型抜き、魚釣り、射的を回り、最後に結果に応じてお菓子をお渡ししました。各コーナーでは応援の拍手が起こったり、「楽しかった」「たくさんお菓子もらえてよかったね」と話されていました。

後半のイベントは職員によるマジックショーとビンゴ大会を実施。ビンゴになると「やった！」と声があがり、お目当ての商品を手にとると、参加者の皆さんは嬉しそうな笑顔を見せてくださりました。

魚釣りゲーム



型抜き



射的

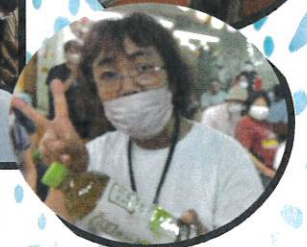


輪投げ

マジックショー



ビンゴ大会



ふるさとセンター郡須 ワークハウス大田原

初めての試みで秋祭りを開催しました。
利用者さんには、準備段階から飾り付け(折り紙等)を作っていました。



射的や輪投げ、ヨーヨー釣りなど
様々なイベントを用意しました！



利用者さんにも30分交代制で
各ブースごとの店番を行ってもらいました
点数の計算や、スタンプラリーのハンコ押しなど
利用者さん同士での交流を深める良い機会となりました。



ビンゴ大会は利用者・職員全員参加で大盛り上がり。
皆さん景品をゲットすべく
ビンゴカードとにらめっこしていました。



クールダウンとして、かき氷を提供。
スタッフ役の利用者さんには、
シロップかけに挑戦してもらいました。

ふるさとホーム那須

龍門の滝

8月上旬、那須烏山市にある「龍門の滝」へ観光に行きました。

線路と滝と一緒に撮影できるため、多くの写真愛好家が訪れる人気のスポットです。



流しそうめん

8月15日、施設の庭で流しそうめんを実施しました。炎天下の中でしたが、冷たいそうめんが口に入ると、皆さん自然と笑顔になっていました。



那須愛恵苑

道の駅 日光ニコニコ本陣



名水の郷 日光おかき工房



報徳二宮神社



7月29日、日光へ遊びに行きました。

日光市内で開催されている七夕祭りを見物し、道の駅で昼食をとり、報徳二宮神社へ参拝した後に、日光おかき工房で手焼きせんべい体験に参加。「いっぱい歩いて、様々な体験が出来て楽しかった」との声をいただきました。

お月見



東京事業所

物作りプログラムで、お月見飾りを制作しました。

毛糸を使ってお団子を作ったり、皆さんとアイディアを出し合いながら素敵な作品が完成しました。



作品は、荒川愛恵苑の玄関や居室に飾っています。

ふるさとホーム那須

9月・10月の特別メニューは、栗のご飯をはじめ、秋の食材を取り入れた料理を提供しました。食事の場で利用者さんから「暑い日々が続いていましたが、もう秋なんですね。」とお話がありました。

10月6日の夜はカーテンを開けて、夜空に輝く満月を眺めながら夕食をとりました。



那須どうぶつ王国

那須愛恵苑



9月23日に、那須どうぶつ王国へ行きました。タカやワシなどの猛禽類が頭上を飛び回るバードショーは迫力満点でした。

ガイドさんの案内を聞きながら、多くの珍しい動物にも会いました。

ライチョウの保護活動について「人間による絶滅危機があり、人間によって保護しなければならない」という話が印象的で、利用者さんも静かに聞いておりました。

ハイチョウ



マナネコ



昼食は、バーベキューを楽しみました。

職員研修

東京事業所

外部講師の小原俊治先生をお招きし、『風通しの良い職場づくり』をテーマに交流分析で学ぶコミュニケーションについて講義をしていただきました。



**小原先生、
ありがとうございました**

交流分析では、自分の心の特徴はどういったものかを知り、「気づくこと」が適切なコミュニケーションの第一歩となることを学び、個人ワークにて自己分析を行いました。

自分自身の特性を知ることによってその特性が過剰になった場合、どのような支障が出てくるのか、また足りない要素を補うにはどんな言動を心がけるのが良いか具体的に示されており、大きな学びとなりました。職員の特性は各々違うので、今回の研修での学びを活かし、それぞれ日々のコミュニケーションに役立てていきたいと思います。



社会福祉 功労表彰

8月21日、宇都宮市文化会館で開催された第31回 栃木県民福祉のつどいにて、栃木事業所から2名の職員が社会福祉の発展に寄与したことが認められ、栃木県社会福祉協議会会長表彰を受けました。

**伊東 元気
職員**



**穴山 るい
職員**

この度は、このような素晴らしい表彰いただけたこと、そして、長年にわたり勤めている当法人窓の陽より推薦していただいたこと、心より感謝申し上げます。

表彰いただいた「栃木県民福祉のつどい」の開催目的である“自らの活動意欲をより高める”べく、これからも相談員として、身近な方々から「相談してよかった。」「話を聞けてよかった。」と言ってもらえるような支援者を目指して、日々従事して参りたいと思います。

福祉がどういうものかわからないまま、ただ人と接すること、話をすることが好きという理由で入職しました。

最初は、利用者さんと日中活動で作業したり、入浴支援として女性入浴日に背中を洗って差し上げたり、外出活動として引率支援をさせていただきました。

現在は、病院受診の引率、利用料引き落としなどの銀行手続きを中心に支援させていただいています。

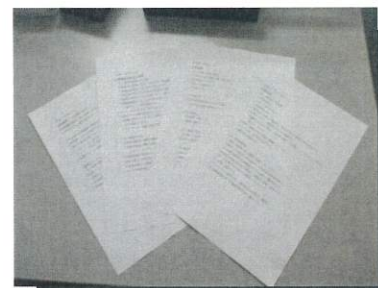
これからも、皆さんの笑顔がみられるよう支援させていただきます。

施設内の衛生管理

感染症対策チェックリストの作成

当法人は『感染症対策に関する指針』を定め、感染症対策委員会の設置・定期的な委員会議の開催のほか、感染症対策に関する職員教育や研修を実施しています。

各施設ごとにグループワークを行い、感染症対策として実行する項目を確認し、チェックリストを作成しました。そのチェックリストと照らし合わせて、各施設業務の中での実施状況の振り返り、修正などを行いました。



チェックリストは
施設・状況に応じて
使い分けられるよう
複数のパターンを作成



ふるさとホーム荒川第2の例を挙げると、
「感染症対策に必要な備品がひとまとまりになっておらず、場所や在庫数の把握がしづらい」
という課題が見つかったので、職員全員が在庫数を一目で把握できるように、保管棚の設置を行いました。

ゴミ分別の取り組み

荒川区は、今年10月1日からプラスチックごみの回収方法が変わりました。今まで燃えるゴミとして出していましたが、プラスチックは資源ゴミの扱いとなります。

利用者さんが新たな分別方法に対応できるよう、施設内でも対策して取り組んでいます。

東京事業所



利用者さん向けの
マニュアルを作成



利用者さんが取り組みやすいように、
視覚的にわかりやすく表示し、
サポートの声掛けをするなど、行っています。

東京事業所

第28回 施設公開&バザー

物品提供

ご協力をお願いします。

日用雑貨 タオル・シーツ類
食器・陶器・台所用品 など

ご家庭でご不用になりました物がありましたら、

お問い合わせ

03-3894-4100 (物品担当者宛)



バザー開催日は

令和8年 **3月14日(土)** です。

※バザーの収益金は、利用者の行事の為に使わせていただきます。

寄附していただきました

株式会社 ナカネ 様

いつも温かいご支援、
ありがとうございます。



ホームページはコチラから

編集者: 原田、星(光)、他広報委員